

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

試 験 問 題

（国語）

注意事項

- 1 試験は全問マークシート方式です。解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。マーク欄を正確にぬりつぶしてください。
- 2 問題冊子の印刷不鮮明等があった場合は手を挙げて監督の先生に申し出をしてください。
- 3 HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使用し、ボールペンは使用しないでください。
- 4 訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- 5 解答用紙の氏名欄に氏名を、受験番号欄に受験番号を記入し、受験番号をマークしてください。
- 6 試験終了後、問題用紙・解答用紙は回収します。

記入例 （例：享栄太郎、受験番号012345番、受験科目 国語）

鉛筆はHBを使用すること		氏名		受験科目名	
【記入例】 良い例 悪い例		享栄 太郎		国語	
※受験番号を記入しマークしてください。					
受験番号					
0 1 2 3 4 5					
0 0 0 0 0 0		1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		27 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
1 0 1 1 1 1		2 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		28 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
2 2 2 2 2 2		3 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
3 3 3 3 3 3		4 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
4 4 4 4 4 4		5 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
5 5 5 5 5 5		6 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		32 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
6 6 6 6 6 6		7 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		33 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
7 7 7 7 7 7		8 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		34 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
8 8 8 8 8 8		9 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		35 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
9 9 9 9 9 9		10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		36 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
		11 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		37 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
		12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		38 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
		13 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		39 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
				40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
				41 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
				42 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
				43 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
				44 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
				45 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
				46 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
				47 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
				48 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
				49 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
				50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
				51 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
				52 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	

【一】 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

時間について言えば、日本語でも表現と直観が一致していないことがある。時間は過去から未来に向かって流れていると感じるだろうか、それとも、未来から過去に向かって流れていると感じるだろうか？

私などはなんとなく、過去から未来に流れているように思うが、どうだろうか？

だが、日本語の表現を見てほしい。今を起点として、ちよつと時間がたったある時点(未来)を何と呼ぶのか？「三時間あと」などというだろう。「あと」というのは、空間的には「うしろ」だ。その逆、すなわち過去は「三時間まえ」と表現する。「まえ」は空間的には目の向かう方向なので、前方である。この言語表現上は、前方は「A」ではなくて「B」である。「A」から「B」に向かって時間が流れていることになる。

しかし、私を含めて少なくない日本人は過去から未来に時間が流れているように感じるだろう。とすると、「うまえ」という言葉を使っているからと言って、認識や思考もそれに^Cシバられているとは必ずしも言えない。

「使用する言語によって思考が影響を受ける」かどうか、言語学では実験が行われてきた。ガイ・ドイッチャー『言語が違えば、世界も違って見えるわけ』や今井むつみ『ことばと思考』では、いくつかの実験例が紹介されている。

^D そうした実験において、よく話題に上るのが、色彩語である。

色彩語は言語による差が大きい。柴犬の色は何色だろうか。おそらく日本人なら茶色と答えるだろう。だが、中国語だと柴犬の色は黄色になる。封筒の色も日本語では茶色だが、英語やフランス語では黄色になるらしい。日焼けした後の色は、日本だと赤か褐色だろうが、中国語では紫と表現することがしばしばある。色は連続しているため、どこからどこまでを同じ語で呼ぶかはズレが生じやすいのである。

だが、^Eこのような違いにもかかわらず、言語の違いが認識に与える影響は限定的なようだ。

人間である以上、色は言語にかかわらず、科学的には同じように見えていると思われる。それを言い分ける仕方が違うだけである。何語を使っていると同じように色が見えている以上、「言語によって世界の見え方が変わる」とは言えない。とするならば、言語による違いは、連続して見える色合いをカテゴリーで区別する際に、その分ける習慣が^Fコトなるだけのようである。

現代日本人は、「青」と「緑」を別色と考える習慣を持っている。だから、葉っぱの色を見て「青い」とは表現しない。あれは明らかに緑色だ。「緑」も「青」の[※]範疇(はんちゆう)に含まれていた古代日本語を使用する人たちの習慣では「青」と表現できたが、見えている色はたぶん古代人も私たちも同じだ。

それに、日本語の母語話者でも、英語を勉強すれば、英語の^G語彙(ごゑい)を理解できる。また、外国語を学習すると「翻訳してしまうとニュアンスが伝わらない」ということを体験するが、それを自覚できるということは、外国語の思考方式を身につけることが可能だということである。仮に日本語が私たちの思考を完全に決定してしまうとしたら、そもそも外国語学習はできないことになってしまう。

言語と思考の関係で同時によく話題に上るのは文化との関係である。一例として、空間把握の仕方と言語、文化の関係を考えてみよう。日本人はたいいてい空間把握を「前後左右」で行っていると思われるが、「前後左右」の語を使わず、「東西南北」で把握する言語、そしてその言語を用いる文化もある。

ただっぴろい草原だとか、逆に目標物が雑然としてゐるジャングルの中などでは、身の回りの「前後左右」のような位置関係よりも絶対的な「東西南北」で意識したほうが、位置がわかりやすいのだろう。吉岡乾『現地嫌いなフィールド言語学者、かく語りき。』によると、山間部では、「東西南北」を持たない言語も多いという。そしてそれは、川や谷が地形に合わせて「東西南北」の指針を無視して延びているし、高い・低いも重要になるからであるらしい。そのような地形では、^H「東西南北」が実用的ではないのである。その代わりに、別の位置関係を表す概念を使う。

とすると、空間把握についても無意識レベルでの環境に対する適応がまずあって、それに対応して言語ができてるように思われる。やはり、思考や文化が先で言語が後であって、その逆ではないように思われる。

【『文』とは何か 愉しい日本語文法のはなし】 橋本陽介 光文社新書】

注 釈

※ 範疇 ……同じような性質のものが含まれる範囲。

問1 空欄「A」・「B」にあてはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 1。

①	「A」	未来	「B」	現在
②	「A」	未来	「B」	過去
③	「A」	現在	「B」	過去
④	「A」	現在	「B」	未来
⑤	「A」	過去	「B」	未来

問2 傍線部C「シバラれ」F「コトなる」のカタカナ部分の漢字を、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は 2・3。

C「シバラれ」……	2	① 結	② 絆	③ 約	④ 緩	⑤ 縛
F「コトなる」……	3	① 事	② 殊	③ 言	④ 異	⑤ 琴

問3 傍線部D「そうした実験」とあるが、その実験の内容として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 4。

- ① 外国語を翻訳する際に、どこまでニュアンスが伝わるかという実験。
- ② 時間の流れが過去と未来のどちらに向かうかという実験。
- ③ 日本人が「青」と「緑」を別色と考えるかどうかという実験。
- ④ あらゆる言語学で色彩語が話題にされるかどうかという実験。
- ⑤ 使用する言語で思考が変化するかという実験。

問4 傍線部E「このような違い」とあるが、本文中に挙げられている例として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 5。

- ① 日本語と中国語では、日焼けした後の色の表現は同じでも、柴犬の色の表現は違う。
- ② 日本では柴犬の色を茶色と表現するが、英語やフランス語では黄色と表現している。
- ③ 封筒の色を茶色と表現する言語もあるが、黄色と表現する言語もある。
- ④ 葉っぱの色は青や緑で表現しているが、現代日本人は青と緑をはっきりと区別している。
- ⑤ 日本だと日焼けの色を赤や褐色と表現するが、中国語では紫としか表現しない。

問5 傍線部G「語彙」の漢字の読み方と同義語として最も適当なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は 6・7。

- 読み方 6 ① ごびゅう ② ごい ③ ごしん ④ ごさ ⑤ ごおん

- 同義語 7 ① ライブラリー ② ラボラトリー ③ リカバリー ④ ボキヤブラリー ⑤ デリバリー

問6 傍線部H「『東西南北』が実用的ではない」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 8。

- ① 「東西南北」の指針は理解することが難しいため現代ではなかなか普及しないということ。
- ② 「前後左右」で空間把握を行っている人たちには「東西南北」の指針は必要ないということ。
- ③ 果てしなく広がる草原などでは位置関係を把握する場合に「東西南北」の指針が非常に重要だということ。
- ④ 空間把握や位置関係を把握する場合には「東西南北」の指針以外は頼りにならないということ。
- ⑤ 地形に合わせて川や谷が広がっている山間部では「東西南北」の指針が役に立たないということ。

問7 本文の内容にあてはまるものとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は

9

。

- ① 「あと」という表現は空間的に「うしろ」を指すので、過去を表すときにしか使うことはできない。
- ② 色彩語によるズレがあったとしても、その色は科学的には同じ色として見えていると考えられる。
- ③ 空間把握を「前後左右」で行っているのは日本人だけであり、他の国では「東西南北」を使う。
- ④ 日本人は外国語を学習することはできても、外国語の思考方式を身につけることはできない。
- ⑤ 人間は無意識に環境に適応し、その後言語が生まれるので、思考や文化よりも言語が先に存在する。

【二】次の文章は、雑草の成功戦略を一言でいえば「逆境×変化×多様性」であると主張する筆者が「逆境」について書いている部分の一部である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「逆境」とは「逆境をプラスに転じる力」である。

たとえば、踏まれながら生きるとは、多くの人が雑草に持つイメージだろう。

中でもオオバコという雑草の戦略は「アシウ逸」である。オオバコは、舗装ほこうされていない道路やグラウンドなど、踏まれやすい場所によく生えている。じつは、オオバコは踏まれやすい場所に好んで生えているのである。

オオバコは競争に弱い植物なので、他の植物が生えるような場所には生息できない。そこで、他の強い植物が生えることのできないような、踏まれる場所を選んで生えているのである。

オオバコは踏まれに強い構造を持っている。

オオバコの葉は、とても柔らかい。硬い葉は、踏まれた衝撃で傷つきやすいが、柔らかい葉で衝撃を吸収するようになっているのである。しかし、柔らかいだけの葉では、踏まれたときにちぎれてしまう。そこで、オオバコは葉の中に硬い筋を持っている。このように、柔らかさと硬さあわを併せ持つところが、オオバコが踏まれに強い秘密である。

I

茎は、葉とは逆に外側が硬くなかなか切れない。しかし、茎の内側は柔らかいスポンジ状になっていて、とてもしなやかである。茎もまた硬さと柔らかさを併せ持つことによって、踏まれに強くなっているのである。

II

「柔よく剛を制す」という言葉がある。

見るからに強そうなのが強いとは限らない。柔らかく見えるものが強いことがあるかも知れないのである。

昆虫学者として有名なファーブルは、じつは『ファーブル植物記』もしたためている。その植物記のなかで、ヨシとカシの木の物語が出てくる。

ヨシは水辺に生える細い草である。ヨシは突風に倒れそうになったカシの木にこう語りかける。カシはいかにも立派な大木だ。しかし、ヨシはカシに向かってこう語りかける。「私はあなたほど風が怖くない。折れないように身をかがめるからね」

日本には「「A」」ということわざがある。カシのような大木は頑強だが、強風が来たときには持ちこたえられずに折れてしまう。ところが、細くて弱そうに見える柳の枝は風になびいて折れることはない。弱そうに見えるヨシが、強い風で折れてしまったという話は聞かない。柔らかく

外からの力をかわすことは、^B 強情に力くらべをするよりもずっと強いのである。

III

柔らかいことが強いということは、若い読者の方にはわかりにくいかも知れない。正面から風を受け止めて、それでも負けないことこそが、本当の強さである。ヨシのように強い力になびくことは、ずるい生き方だと若い皆さんは思うことだろう。

しかし、風が吹くこともまた自然の※¹節理である。風は風で吹き抜けなければならぬ。自然の力に逆らうよりも、自然に従って自分を活かすことが大切である。

この自然を受け入れられる「柔らかさこそ」が、本当の強さなのである。

オオバコは、柔らかさと硬さを併せ持って、踏まれに強い構造をしている。

しかし、オオバコのすごいところは、踏まれに対して強いというだけではない。

オオバコの種子は、雨などの水に濡れるとゼリー状の粘着液を出して膨張する。そして、人間の靴や動物の足にくっついて、種子が運ばれるようになっていのである。オオバコの学名は *Plantago*。これは、足の裏で運ぶという意味である。タンポポが風に乘せて種子を運ぶように、オオバコは踏まれることで、種子を運ぶのである。

よく、道に沿ってどこまでもオオバコが生えているようすを見かけるが、それは、種子が車のタイヤなどについて広がっているからなのだ。

^C こうなると、オオバコにとって踏まれることは、耐えることでも、克服すべきことでもない。もはや踏まれないと困るくらいまでに、踏まれることを利用しているのである。

IV

「逆境をプラスに変える」というと、「物事を良い方向に考えよう」という^D ポジティブシンキングを思い出す人もいるかも知れない。

しかし、^E 雑草の戦略は、そんな気休めのものではない。もっと具体的に、逆境を利用して成功するのである。

たとえば、雑草が生えるような場所は、草刈りされたり、耕されたりする。ふつうに考えれば、草刈りや耕起は、植物にとっては生存を危ぶまれるような大事件である。「^F」、雑草は違う。草刈りや耕起をして、茎がちぎれちぎれに切断されてしまうと、ちぎれた断片の一つ一つが根を出し、新たな芽を出して再生する。つまり、ちぎれちぎれになったことによつて、雑草は増えてしまうのである。

また、きれいに草むしりをしたつもりでも、しばらくすると、一斉に雑草が芽を出してくることもある。じつは、地面の下には、膨大な雑草の種子が芽を出すチャンスを伺っている。一般に種子は、暗いところで発芽をする性質を持っているものが多いが、雑草の種子は光が当たると芽を出すものが多い。

草むしりをして、土がひっくり返されると、土の中に光が差し込む。光が当たるといことは、ライバルとなる他の雑草が取り除かれたという合図でもある。そのため、地面の下の雑草の種子は、チャンス^イ トウ来とばかりに我先にと芽を出し始めるのである。

こうして、きれいに草取りをしたと思っても、それを合図にたくさんの雑草の種子が芽を出して、結果的に雑草が増えてしまうのである。

草刈りや草むしりは、雑草を除去するための作業だから、雑草の生存にとっては逆境だが、雑草はそれを逆手に取って、増殖してしまうのである。何というしつこい存在なのだろう。

そんなしつこい雑草をなくす方法など、あるのだろうか。

じつは、一つだけ雑草をなくす方法があると言われている。それは、あろうことか「**G**」「**L**」だという。

雑草は、草刈りや草取りなど逆境によって繁殖する。草取りをやめてしまえば、雑草だけでなく、さまざまな植物が生えてくる。そうすると、競争に弱い雑草は、立つ瀬がない。だんだんと大きな草が生え、やがて、※2 灌木かんぼくが生えてくる。そして、長い年月を経て、森となっていくのである。人の手が入らなければ、「**H**」「※3 遷移せんい」が起こるのである。競争に弱い雑草は、大型の植物や木々が生い茂る場所では、生存することができない。そして、ついに雑草はなくなってしまうのである。

本当に雑草は弱くて強い存在であり、また強くて弱い存在なのだ。

『植物はなぜ動かないのか』 稲垣栄洋 ちくまプリマー新書

注 釈

※1 節理 …… 物事の道理。ことわり。すじみち。

※2 灌木 …… ツツジなどの丈が低く、幹が発達しない植物。

※3 遷移 …… 一定地域の植物群落が、環境の推移によって他の種類へと交代し、一定の方向へ変化していくこと。

問1 二重傍線部ア「シュウ逸」イ「トウ来」のカタカナ部分を漢字に直したとき、同じ漢字を含むものを、次の各語群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は 10 ・ 11。

ア「シュウ逸」 10 ①富士のシュウ麗な姿。②事態がシュウ束する。③社長にシュウ任する。④シュウ大成の作品。⑤シュウ点に着く。

イ「トウ来」 11 ①演奏にトウ酔する。②人材をトウ用する。③国をトウ治する。④役割を配トウする。⑤周トウな計画。

問2 空欄「A」にあてはまる語句として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 12。

- ① 柳を折る ② 柳の下 ③ 柳と蛙 ④ 柳に風 ⑤ 柳の舞

問3 傍線部B「強情に力くらべをする」とあるが、本文中でこれと反対の意味で用いられている部分として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 13。

- ① 弱そうに見えるヨシが、強い風で折れてしまった
② 大木は頑強だが、強風が来たときには持ちこたえられずに折れてしまう
③ 自然を受け入れられる
④ 自然の力に逆らう
⑤ 正面から風を受け止めて、それでも負けないこと

問4 傍線部C「こうなると」とあるが、これはどうなることか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 14。

- ① オオバコの種子が風に乘って運ばれ、人間の衣類や車のタイヤなどについて広がり、世界中にオオバコが知られるようになること。
- ② 柔らかさと硬さを併せ持った競争に強いオオバコが、舗装されていない道路やグラウンドの特定の場所に生え始めること。
- ③ 車のタイヤなどにつくことによって種子を運ぶオオバコが、道に沿ってどこまでも生えるようになること。
- ④ オオバコの種子がゼリー状の粘着液を出して膨張することで、人間に踏まれにくい構造になること。
- ⑤ 葉の中に硬い筋を持っているオオバコが、踏まれても葉がちぎれないような踏まれに強い構造になること。

問5 傍線部D「ポジティブ」と反対の意味を表すカタカナ語として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 15。

- ① アクティブ ② アグレッシブ ③ イニシアチブ ④ クリエイティブ ⑤ ネガティブ

問6 傍線部E「雑草の戦略」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 16。

- ① 雑草は草刈りや耕起をされることで生存できなくなるが、植物相互間の我慢があるからこそ植物同士は共存できるということ。
- ② 競争に弱い雑草は、他の植物にとっては生存を危ぶまれるような草刈りや耕起を利用して増殖するということ。
- ③ 競争を得意とする雑草は、草刈りや耕起をされない場所を認識しており、種子が運ばれる場所を自ら選択するということ。
- ④ 人間が雑草を踏むことで、大型植物が生息できる場所に雑草の種子が運ばれ、森の一部となることができるということ。
- ⑤ 雑草にとっては逆境となる草刈りが、芽を出す機会を待っていた種子にとっては好都合であり、雑草は減っていくということ。

問7 空欄「F」「H」にあてはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 17。

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|------|
| ① | 「F」 | しかし | 「H」 | いわゆる |
| ② | 「F」 | しかし | 「H」 | まさか |
| ③ | 「F」 | だから | 「H」 | かえって |
| ④ | 「F」 | だから | 「H」 | いわゆる |
| ⑤ | 「F」 | しかも | 「H」 | かえって |

問8 空欄「G」にあてはまる語句として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 18。

- ① カシを育てること ② 除草剤を散布すること ③ 昆虫を飼うこと ④ 雑草をとらないこと ⑤ 草取りをすること

問9 本文中から次の一文が抜いてある。この一文が入る最も適当な箇所を、あとの①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 19。

ヘルメットが、外は固いが中はクッションがあって柔らかいのと、まったく同じ構造なのである。

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|--|---|------|---|---|------|--|---|------|---|---|------|--|
| ① | 本文中の | I | ② | 本文中の | II | ③ | 本文中の | III | ④ | 本文中の | IV | ⑤ | 本文中の | V |
|---|------|--|---|------|---|---|------|--|---|------|---|---|------|--|

問10 この文章を授業で読んだJさんは、内容をよく理解するために次のようなノートを作成した。空欄 i に入る語句として最も適切なものを、あとの各語群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。 解答番号は 20 ① 22 ②

ノート

雑草は弱くて強い存在であり、強くて弱い存在である。

i

←

ii

←

弱い面もあるが、生存できる環境では自然に従って自分を活かすことができるということ。

強い面もあるが、生存できない環境では、あえて自然に逆らわないということ。

雑草は自然を受け入れて自分を活かしているのである。

自然を受け入れる柔らかさを持った雑草が生存しにくい場所では、最終的に生存できるのは頑強な植物である。

このことを考えると、頑強な植物も自然に従って自分を活かしているのである。

←つまり

見た目の剛柔ではなく、自然の節理に従って自分を活かすことが iii なのである。

i に入る語句

20

- ① 草刈りをされない場所に生えているおかげで、繁殖できること。
- ② 踏まれやすい場所に生えたが、踏まれなくて済むこと。
- ③ 踏まれることや刈られることを利用して増殖すること。
- ④ 踏まれて種子を運んでもらったのに、大型の植物が生えてくること。
- ⑤ 弱そうに見えるヨシが、強い風に耐えきれずに折れてしまうこと。

ii に入る語句

21

- ① カシは強そうに見えるのに、細い草であるヨシに非難されたということ。
- ② 大型の植物であっても、昆虫による食害には耐えられないということ。
- ③ 踏まれることに耐えたのに、芽を出すことができない植物が多いということ。
- ④ 頑強な大木であっても、強風には耐えられずに折れてしまうこと。
- ⑤ しつこく増殖するのに、大型植物が生い茂る場所では生息できないこと。

iii に入る語句

22

- ① 逆境を避ける方法
- ② 本当の強さ
- ③ 雑草の弱さ
- ④ 耐えることの大切さ
- ⑤ 生存競争の厳しさ

【三】 次の各設問に答えなさい。

問1 次のA～Dの人物の作品を、あとの【作品名】①～⑨の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は 23 ～ 26。

A	清少納言	23
B	松尾芭蕉	24
C	志賀直哉	25
D	太宰治	26

【作品名】

- ① 源氏物語 ② 枕草子 ③ 徒然草 ④ 奥の細道 ⑤ おらが春
⑥ 明暗 ⑦ 暗夜行路 ⑧ 斜陽 ⑨ 地獄変

問2 次のA～Dの意味を表す慣用句・ことわざをあとの【語群】①～⑧の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は 27 ～ 30。

- A 中途半端で役に立たないこと。 27
B 他人のものを利用して自分の目的を果たすこと。 28
C 同類のものがすることはお互いによくわかること。 29
D 仲のいい間柄や、始めたことがらに邪魔をすること。 30

【語群】

- ① 他人の飯を食う ② 人のふんどしで相撲をとる ③ 蛇の道は蛇 ④ 帯に短したすきに長し
⑤ 口八丁手八丁 ⑥ 鳩に豆鉄砲 ⑦ 水を差す ⑧ 犬猿の仲